

平成27年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行  
の状況についての点検及び評価に関する報告書

徳 島 市 教 育 委 員 会

平成27年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定により、平成27年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書を次のとおり提出する。

平成28年9月8日提出

徳島市教育委員会

# 第1章 はじめに

## 1 教育委員会の所掌事務に係る点検・評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）により、教育委員会は、毎年、教育長等に委任された事務を含む教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、外部の学識経験者の知見も活用しつつ、点検及び評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

徳島市教育委員会では、本市行政評価システムの手法を活用しながら、その所掌する事務事業の有効性や効率性について見直しを行い、報告書を作成するとともに、教育行政のより効果的で効率的な運営ができるよう取り組んでまいりました。また、本報告書における点検・評価にあたっては、平成27年3月に策定した第2期の「徳島市教育振興基本計画」における理念、目標及び基本方針を反映したものとなるよう作成しています。

点検・評価の具体的な項目や指標、報告書の様式等については、法令に特段の定めがないため本市行政評価システムの評価様式に準じたものとしておりますが、市民目線に立って、より見やすく、より分かりやすいものとなるように、今後も引き続き改善に努めてまいります。

## 2 本報告書の構成について

徳島市教育委員会の活動を、(ア)教育委員会の活動状況、(イ)教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）、(ウ)教育委員会が管理・執行を教育長に委任している事務（事務局が実施する事務事業）の3項目に分類し、点検・評価した結果について次のとおりまとめ、報告することとしています。

### (1) 教育委員会活動報告……………(ア)及び(イ)

教育委員会の就任状況や教育委員会の会議の開催状況等について記載しています。

### (2) 教育委員会の所掌に係る事務事業の概要……………(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業について、平成27年度の概要をまとめ、記載しています。

### (3) 事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧……………(ウ)

教育委員会の所掌に係る事務事業の点検・評価結果を項目ごとに一覧できるように、本市行政評価システムの様式を参考に表形式で記載しています。

なお、点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用として、今回は徳島文理大学准教授の富樫敏彦氏、鳴門教育大学准教授の湯口雅史氏にそれぞれ所見をいただきました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 第2章 平成27年度教育委員会活動報告

### 1 教育委員会組織

○ 委員の就任状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

氏名	平成28年3月31日現在の役職	異動状況
佐藤 文子	委員長	
濱野 正裕	委員長職務代理者	
中村 久子	教育委員	H28. 3. 31退任
木下 成三	教育委員	H27. 10. 29退任
湊 暁美	教育委員	H27. 10. 30就任
石井 博	教育長	

### 2 教育委員会の会議等開催状況

毎月1回定例会を開催した。(臨時会は必要に応じて開催)

(1) 平成27年度の会議開催状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会		-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
計		1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	14

(2) 平成27年度の議案等の付議状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
議案		3	1	4	5	3	3	1	8	1	4	7	12	52
協議報告事項		-	5	2	-	-	-	1	3	1	1	-	2	15
計		3	6	6	5	3	3	2	11	2	5	7	14	67

(3) 定例会での主な審議内容

○ 議会の議決を経るべき議案(11件)

徳島市幼稚園条例の改正、徳島市青少年交流プラザ条例の改正、徳島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例改正、平成28年度の教育委員会の所管に係る予算、平成27年度の教育委員会の所管に係る補正予算 等

○ 教育委員会の定める規則の制定に関する議案(10件)

徳島市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師公務災害補償条例施行規則の改正、徳島市教育支援委員会規則の改正、徳島市教育委員会事務局行政組織規則の改正 等

○ 社会教育委員等の附属機関の委員の任命に関する議案(7件)

社会教育委員、図書館協議会委員、徳島城博物館協議会委員、考古資料館協議会委員、スポーツ振興審議会委員等の任命

- 事務局職員及び教育機関の職員の人事に関する議案（12件）
- その他の議案（12件）

### 3 総合教育会議

- 日 時 平成28年1月29日(金)
- 場 所 徳島市役所 8F 庁議室
- 出席者 市長・教育委員長・教育委員3名・教育長
- 議 事 ・徳島市教育大綱について (9・10ページ参照)
- 報 告 ・教育研究所における主な事業について  
・青少年補導センターにおける主な事業について

### 4 その他の活動

#### (1) 委員研修会等への参加

- 県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会

- 日 時 平成27年4月3日(金)
- 場 所 総合教育センター
- 参加者 教育委員長・教育委員3名・教育長
- 内 容 ・平成27年度教育重点施策説明  
・各課等施策説明 等

- 平成27年度全国市町村教育委員会連合会定期総会

- 日 時 平成27年5月22日(金)
- 場 所 東京都
- 参加者 教育委員長
- 内 容 ・文部科学省 講演  
「初等中等教育の課題と動向について」  
・文部科学省 重要事項説明  
「改正後の教育委員会制度、その現状と課題」

#### (2) 教育功労者表彰の実施

- 教育功労者表彰式

- 日 時 平成27年11月2日(月)
- 場 所 徳島市役所 13階 大会議室
- 参加者 教育委員長・教育委員2名・教育長
- 内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰  
・被表彰者 73名(4団体を含む。)

- 日 時 平成28年3月4日(金)
- 場 所 徳島市役所 11階 教育委員会室
- 参加者 教育長
- 内 容 徳島市の教育、学術及び文化の振興発展に貢献したものを表彰  
・被表彰者 4団体

(3)学校視察の実施

月 日	曜日	視 察 先	内 容
5月14日	木	北井上小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
5月15日	金	川内南小学校	授業参観、経営方針について、特別支援教育の充実に向けた取り組みについての報告
5月15日	金	入田小学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の実態、統一大会（家庭科）へ向けての報告
5月20日	水	内町小学校	授業参観、校内研修の充実、生徒・保護者・教職員・地域の様子、施設についての報告
5月20日	水	上八万小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
5月21日	木	八万小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
5月22日	金	加茂名南小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員の様子、生徒指導についての報告
5月22日	金	大松小学校	授業参観、家庭学習の充実について、授業改善への取り組みと研修内容についての報告
5月26日	火	佐古小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・スマイルタイムについての報告
5月26日	火	加茂名小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・PTA活動、生徒指導についての報告
6月2日	火	一宮小学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の実態、小規模校ならではの取り組みについての報告
6月3日	水	助任小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員の様子、研修についての報告
6月3日	水	応神小学校	授業参観、経営方針、児童の実態、応神学園運動会に向けた取り組みについての報告
6月5日	金	城西中学校	授業参観、経営方針について、生徒・教職員の様子、「熱血教師塾」についての報告
6月8日	月	加茂名中学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の様子、生徒指導上の問題点と対応策についての報告
6月8日	月	川内北小学校	授業参観、経営方針、国語教育の統一大会に向けた全校研修体制についての詳細な報告
6月9日	火	川内中学校	授業参観、経営方針、児童の実態について、地域・関係機関との連携についての報告
6月9日	火	応神中学校	授業参観、経営方針について、応神学園の様子と生徒指導に関する取り組みについての報告
6月10日	水	富田中学校	授業参観、経営方針について、生徒指導上の問題点、授業改善の取り組みについての報告
6月10日	水	論田小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員の様子、研修についての報告
6月11日	木	南部中学校	授業参観、生徒・保護者・教職員・地域の様子、授業改善への取り組みについての報告
6月12日	金	八万中学校	授業参観、生徒・保護者・教職員の様子、生徒指導上の問題点と対応策についての報告

月 日	曜日	視 察 先	内 容
6月15日	月	国府中学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の様子についての報告
6月15日	月	不動小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、不動学園の現状についての報告
6月16日	火	上八万中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、授業改善についての報告
6月16日	火	入田中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、文化的行事（講演会）の報告
6月17日	水	城東中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、生徒指導についての報告
6月17日	水	不動中学校	授業参観、経営方針について、アクティブラーニングの研究指定についての報告
6月18日	木	徳島中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、授業改善と研修についての報告
6月19日	金	津田中学校	授業参観、生徒・保護者・教職員・地域の様子、生徒指導の状況と対応策についての報告
6月19日	金	方上小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、生徒指導についての報告
6月22日	月	昭和小学校	授業参観、経営方針、児童の実態について、地域・関係機関との連携についての報告
6月22日	月	千松小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、支援の必要な生徒についての報告
6月24日	水	宮井小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、特別支援教育の現状についての報告
6月24日	水	八万南小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、生徒指導面の課題についての報告
6月25日	木	津田小学校	授業参観、経営方針、生徒・教職員・地域の様子、関係機関との連携についての報告
6月26日	金	福島小学校	授業参観、経営方針について、校区内の児童養護施設との連携についての報告
6月26日	金	城東小学校	授業参観、経営方針について、生徒・保護者・教職員・地域の実態についての報告
6月29日	月	沖洲小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、新校舎建築についての報告
6月29日	月	北井上中学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、学力向上策に関する報告
6月30日	火	渋野小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、文部人権についての報告
6月30日	火	飯谷小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、休校に向けての課題等の報告
7月1日	水	国府小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員の様子、特別支援教育の状況についての報告
7月1日	水	南井上小学校	授業参観、経営方針、生徒・保護者・教職員・地域の様子、登下校時の状況に関する報告



月 日	曜日	視 察 先	内 容
9月7日	月	新町小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月7日	月	北井上小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月8日	火	城西中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月9日	水	入田小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月9日	水	一宮小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月10日	木	国府中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月14日	月	富田小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月14日	月	上八万中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月15日	火	川内北小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月16日	水	八万小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月17日	木	加茂名南小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月28日	月	津田小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月29日	火	助任小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月30日	水	内町小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
9月30日	水	加茂名小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月1日	木	飯谷小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月1日	木	論田小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月5日	月	入田中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月5日	月	八万中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月6日	火	国府小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月7日	水	応神小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月7日	水	北井上中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観

月 日	曜日	視 察 先	内 容
10月13日	火	川内中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月14日	水	川内南小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月14日	水	津田中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月15日	木	城東中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月19日	月	加茂名中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月20日	火	渋野小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月20日	火	上八万小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月21日	水	福島小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月22日	木	沖洲小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月26日	月	昭和小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
10月27日	火	応神中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月10日	火	富田中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月12日	木	南井上小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月12日	木	佐古小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月16日	月	南部中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月17日	火	宮井小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月17日	火	方上小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月18日	水	国府小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月18日	水	城東小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月24日	火	徳島中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月25日	水	千松小学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観
11月26日	木	不動中学校	学校の現状と課題についての報告、教員配置についての要望、教室訪問・授業参観

# 徳島市教育大綱

## 1 徳島市教育大綱の位置づけ

徳島市教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3に基づき、徳島市の教育が目指す基本的な方向や目標を定め、今後推進すべき施策を明らかにするものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(大綱の策定等)

- 第一条の三 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱(以下単に「大綱」という。)を定めるものとする。
- 2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第一項の総合教育会議において協議するものとする。
- 3 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更したときは、遅滞なく、これを公表しなければならない。
- 4 第一項の規定は、地方公共団体の長に対し、第二十一条に規定する事務を管理し、又は執行する権限を与えるものと解釈してはならない。

## 2 徳島市教育大綱の期間

徳島市教育大綱の期間は、平成27年度を始期、平成31年度を終期とする5年間とします。

## 3 教育の基本理念

- 生涯にわたって、それぞれの発達段階や個性・能力に応じた学習に主体的に取り組める人を育成します。
- 確かな学力と規範意識を身に付けた、社会に対応していく「人間力」を備えた人を育成します。
- 先人が築きあげてきた伝統文化を次世代へ継承するとともに、本市独自の特色ある新たな地域文化の担い手となる人を育成します。

## 4 教育の基本目標

かがやきの人づくり ～文化を育み、未来へ飛翔する人づくり～

## 5 教育の基本方針

基本目標の達成に向けて、将来を担う子どもたちの育成や、市民が生きがいを持って心豊かな生活を送れるよう生涯学習の充実に努めるとともに、スポーツ・文化活動の振興により、心も体も健康で、豊かな創造性にあふれた人づくりを進めます。

### 基本方針1 創造する喜びを拡げる生涯学習の推進

市民が必要とする学習を取捨選択できるよう、さまざまな領域やレベルの学習機会を継続的・体系的に提供するとともに、その学習成果を生かした社会参加活動を一層支援するため総合的な取組を進めます。

### 基本方針2 「生きる力」を育む学校教育の推進

学校教育においては、「生きる力」の育成を基本とし、幼児・児童生徒が、自ら学び、自ら考える教育を目指すとともに、知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進します。

### 基本方針3 信頼される教育環境の実現

開かれた学校づくりを推進し、地域の教育力の積極的な導入に努めるとともに、安全・安心な学校づくりを進めます。さらに教育の組織運営体制の充実を図ります。

### 基本方針4 一人ひとりを尊重する人権教育・啓発の推進

学校教育及び社会教育において、これまで推進してきた同和教育の成果と手法を生かしながら、すべての人の人権が尊ばれる社会づくりを目指し、人権教育・啓発を推進します。

### 基本方針5 心豊かでたくましい青少年の育成

次代を担う青少年が、心豊かにたくましく成長できるよう学校・家庭・地域・行政が一体となり、青少年の健全育成に取り組みます。

### 基本方針6 生涯にわたり楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の振興

生涯にわたるスポーツ・レクリエーションを推進し、すべての市民がスポーツ・レクリエーションに関わり、地域に根ざした市民主体のスポーツ・レクリエーション活動の普及に努めるとともに、そのための施設設備の整備を推進します。

### 基本方針7 郷土の遺産である文化財の保存と活用

伝統文化を継承・発展させるために、活動環境づくりに努めるとともに、文化財が現代社会において積極的な役割を果たすことができるように、その保護・整備・活用に努めます。

## 6 教育施策の推進

各教育施策は、「徳島市教育振興基本計画（第2期）」（平成27年3月策定）に基づき推進します。

## 第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業の概要

### 1 生涯学習の推進

科学技術の進歩や社会構造の変化、高齢化や自由時間の増大に伴い、生涯学習推進の中核である社会教育において、個人の人的価値に加え、社会的価値を追求する視点が重要になってきたことを受けて、地域の課題解決を目的にした事業として、「放課後子ども教室推進事業」、「地域学遊塾運動」、「地域住民交流促進事業」などを実施し、地域における教育力の向上に努めてきた。

さらに、図書館においては、平成24年4月1日に駅前アミコビルに移転し利便性を向上させるとともに、面積を旧図書館の3倍とするなど施設を充実させたことにより、利用しやすい図書館づくりに取り組んだ。図書館サービスも、市民にとって身近で役に立つ図書館を目指して、新しい図書館にふさわしい運営方針「①子どもの成長支援・②地域の成長支援・③市民の学習支援」に沿った多くの新たなサービスを展開することにより、市民生活への浸透を図り、4年間で220万人以上の来館者があった。

考古資料館においても、引き続き指定管理者と連携して、新しいイベントの開催などにより事業を充実させ、利用者への利便性とサービスの向上を図り、開館以来最も多い12,587人の来館者があった。

### 2 学校教育の充実

幼稚園教育の充実については、子育て支援の一環として未就園児への園の開放事業や、就園を奨励するため一定の条件に該当する保護者の保育料負担の軽減を目的に、私立幼稚園に対して補助金を交付した。平成19年度からは第3子以降の園児の保護者に対しても保育料の負担の軽減を図っている。

さらに、平成27年度からは国の子ども・子育て支援新制度が施行されたことに伴い、以前より保護者の要望が多かった3歳児保育を福島幼稚園、千松幼稚園、八万幼稚園、川内北幼稚園の4園で開始し、3歳からの教育の提供を実施した。

また、より質の高い幼稚園教育を提供することを目的に、再編計画を策定し、実施に向けて取り組んでいるところである。

小中学校教育の充実については、学校評議員制度の導入やオープンスクールなどの実施により、開かれた学校づくりに取り組んでいる。また、平成27年度は子どもたちの学力向上を目指して「未来を拓く」学力サポート事業を実施し、加茂名小学校・加茂名南小学校・加茂名中学校の3校をモデル校として、学力サポートティーチャーとともに各校の課題を見直し、研究テーマに沿った指導方法の工夫・改善のための実践研究を行ったほか、学力向上推進担当による学校訪問や先進地から講師を招いての研修会開催など、教員の指導力向上や授業改善に取り組んだ。

さらに、臨時助教員を21校に配置し、特別な支援を必要とする児童生徒に対するきめ細やかな指導を行っている。

高等学校教育の充実については、市高の魅力・特色づくりの一環として、外国語指導助手の専任化、姉妹都市サギノー市にある州立大学へ生徒12名を15日間派遣し、語学研修や文化交流を実施した。また、市高生「夢」実現応援事業を実施し、学力向上の推進や部活動の強化に努めた。施設面では、PFI方式により校舎等の維持管理に努めた。

特別支援教育については、平成28年4月に施行予定となっている障害者差別解消法に伴い、公立学校（園）において障害者に対する「合理的配慮」の提供が義務づけられることとなり、より一層子どもたち一人ひとりに適正な学びの場を提供し、教育的ニーズに応じた指導支援を行うことが重要となってきた。

そのため、学習支援ボランティア等を学校に派遣し、担任の補助等、個々に合わせた支援を行うとともに、教職員に対しては、研修会等を開催し、指導力の向上を図った。また、文部科学省から「発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業」を受託し、通常学級における特別な支援の必要な児童への対応について研究した。その成果は、徳島市特別支援教育実践事例データベースとして公開し教員の指導力向上につなげている。

学校（園）施設の整備・充実については、幼児・児童生徒が安心して学校（園）施設を利用できるよう校（園）舎などの耐震化を計画的に進めてきており、未耐震だった沖洲小学校校舎及び屋内運動場が平成27年11月に完成したことにより、学校（園）施設の耐震化率は100%となった。

また、各幼稚園の園舎及び小中学校の校舎・給食室等の改修工事や保全整備を実施したほか、幼稚園・小学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育施設の整備・充実を図った。

さらに、防犯対策として、門扉やフェンスなどを計画的に整備し、安全・安心な学校づくりに努めた。

教育支援体制の充実については、障害のある幼児や児童生徒がよりよい教育を受けられるように適切な学びの場や指導支援についての相談や調査を行った。

また、低所得世帯の児童生徒の保護者に対しては就学援助を実施し、経済的理由により大学への就学が困難な者に対しては奨学事業を実施し、それぞれ経済的支援を行った。

国際理解・交流活動の推進については、外国青年を外国語指導助手として雇用し、市内の小・中・高校に派遣している。児童生徒が、外国語指導助手との交流を通じて、生きた英語や外国文化について直接学ぶことで、国際理解を深められる環境づくりに努めた。

小学校英語活動の推進のために、英語活動サポーター派遣事業を実施し、英語が堪能な地域人材や学生ボランティアを希望する小学校へ派遣した。また、英語教育における小中連携を推進するため、英語教育小中学校担当者会を実施し情報交換を行った。

高度情報化社会に対応した人材の育成については、小中学校におけるICT活用の充実を図るため、教育用コンピュータの整備とICT活用研修に努めた。

### 3 青少年の健全育成

家庭教育の自立性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供に努め、PTA活動をはじめ、各種生涯学習講座を活用し、子育てに関する学習の機会の充実を図ってきた。

青少年の健全育成を図るため、子どもゼミナール、中学生・高校生ボランティアグループ活動などを実施するとともに、青少年活動を支援する指導者層の拡充を図ってきた。

市民総ぐるみ青少年健全育成活動、地域における子どもの安全対策の推進、街頭補導を中心とした育成補導活動及び電話相談を中心とした相談活動を重点に掲げ、複雑多様化する青少年の問題行動の未然防止、早期発見に取り組むとともに、スクールガードリーダーを2名配置し、登下校時における巡視や各学校の交通安全指導、地域ぐるみで子どもの安全を見守る体制づくりに努めた。

加えて、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」により、学校PTA、地域団体等の多様な主体によって進められている「生活安全（防犯）」、「災害安全（防災）」及び「交通安全」の取り組みを連携させた地域ぐるみのセーフティネットワークの構築に努めた。

深刻化するいじめ問題について、「いじめ問題等対策チーム」を中心に学校・家庭・地域社会との連携を密にし、平成25年7月に「いじめをなくすために」（教師用指導資料）を発行、平成26年3月に「徳島市いじめ防止基本方針」を定め、いじめの防止・解消に取り組んできた。また、平成28年3月には取り組みの充実に向け、教育委員会内の対策組織等の一部見直しを行った改訂版を作成した。

さらに、課題解決に向かって主体的に取り組む子どもを育てることを目的として小中学生会議を開催するため、平成27年度は中学生会議を実施した。携帯電話やスマートフォンの使用によるトラブルの回避、いじめ等に利用しない正しい使い方等をテーマにグループで話し合い、子どもたちの議論の中で決まったことを各学校に持ち帰り、生徒会等が中心となって啓発に取り組んだ。

また、携帯電話やスマートフォン等の所持率が年々増加し、インターネットを利用したトラブルや事件に巻き込まれたり、いじめ等に利用したりすることがないように、よりよい使い方を指導するための資料を作成した。併せて、保護者や児童生徒への啓発資料として「大丈夫？ケータイ・スマホの使い方」のリーフレットを作成し、各家庭へ配布した。

不登校問題については、適応指導推進施設を運営し、不登校状態にある児童生徒に対して、学校復帰や社会的自立に向けての支援や教育相談を行った。また、ひきこもりがちな児童生徒の自立を側面的に支援するため、心理学を専攻している大学院生を家庭に派遣した。

さらに、アンケートを用いた実態把握にも努め、不登校・いじめの未然防止に努めた。

### 4 スポーツ・レクリエーション活動の振興

市民一人ひとりが、それぞれの興味や関心、目的、体力に応じたスポーツに親しむことができるよう、多様化するニーズに対応できる社会体育指導者の養成と資質の向上を

図るため、指導者養成事業を実施した。

また、各種スポーツ事業の開催や支援を行うことにより、市民がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を充実させるため、市民スポ・レクフェスティバル等の生涯スポーツ事業や、児童生徒の体力向上を目指したスポーツ大会の開催、阿波吉野川マラソンをはじめとするスポーツ大会の開催助成を行うとともに、平成27年度からの新規事業として、徳島出身Jリーガーから、サッカーの技術とその基礎となる体づくりのための食事を学ぶ食育サッカーフェスタを市民活動団体との協働事業として実施した。

さらに、市民が、いつでも、どこでも、だれでもスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図るため、昨年度に引き続き市立体育館の耐震改修事業に取り組むとともに、市立スポーツセンター及びB&G海洋センターの耐震改修工事を行うなど、施設の機能維持に努めた。

## 5 文化・芸術活動の振興

文化財の保存と活用については、史跡徳島藩主蜂須賀家墓所の修復整備、史跡徳島城跡の保存活用計画と史跡渋野丸山古墳の保存整備計画の検討及び渋野丸山古墳の史跡公有化、重要文化財三河家住宅の保存活用計画策定にあたり、パブリックコメント手続きを実施した。

また、犬飼の舞台での阿波人形浄瑠璃の公演、地域に伝わる神踊りや獅子舞の保存・継承による伝統芸能の保護・啓発に努めるとともに、文化財指定や指定文化財の管理・保全を図り、地域住民が主体となる文化財保護活動の支援を推進した。

さらに、開発行為に伴い消滅する埋蔵文化財について、記録保存の発掘調査を実施し、遺跡・遺物の保護を図り、埋蔵文化財の保護についての理解を高めた。

博物館活動として、徳島藩及び蜂須賀家に関わる企画展及び特別展を開催し、重要文化財等の展示公開を徳島城博物館で実施した。また、地域の歴史や文化を示す考古資料を扱った考古資料館、人形師天狗久の工房跡である天狗久資料館での展示公開・教育普及などを通じて、地域づくりを担う地域の歴史や文化を理解した人づくりを推進した。

## 6 その他の事務事業

### (1) 子どもの体力・元気アップ推進事業

子どもたちが健康で明るい生活を送るための基礎となる体力・運動能力の向上を図るため、体育授業への講師派遣を行うとともに、教員体育実技指導者講習会を実施することにより、教員の指導力向上による学校体育の充実に努めた。

また、幼児や児童に対して、外遊びの奨励や運動習慣の啓発を図るため、巡回スポーツ教室を開催することや小学校においてチャレンジ運動種目の記録に挑戦する元気アップチャレンジランキングを実施することで、外遊びや運動に取り組む環境づくりの推進を図った。



## (2) 食育の推進

食育を推進するため、徳島市教育委員会食育推進委員会及び4つの専門研究部会を開催し、幼稚園及び学校並びに社会教育における食育の課題や推進方法等について検討した。

また、幼稚園及び学校においては、校（園）内食育推進体制を整え食育をより機動的に推進するため、各校（園）において中核的な役割を担う学校食育リーダーを置き、各校（園）の食育全体計画及び平成27年度の食に関する指導の年間指導計画（案）を作成した。

なお、平成27年度は、卵・そば米・かに・落花生の4品目において、学校給食における食物アレルギー除去食の提供を全校46校（小学校31校・中学校15校）で継続実施した。

さらに、子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解を深めるため、校内体験栽培作物の給食への活用や、野菜の摂取促進及び地場産食材を活用するために新献立を導入した。また、食育コンテストの一環として「残食ゼロリンピック」を実施し、食べ残しの軽減を図ったり、「市場ランチ」を実施するなど、学校給食が生きた教材として活用されるような取り組みを進めるとともに、食育フェアや学校給食フェアを開催し、広く市民に情報の提供を行った。

## (3) 人権教育・啓発の推進

学校教育においては、一人ひとりを尊重する人権教育の推進を図り、様々な人権問題の解決を目指すとともに、社会教育においても、すべての人の人権が尊重される社会づくりを目指した人権教育・啓発を推進した。

特に、教職員の人権感覚を高めるために、人権教育研修の助成事業を継続実施し、児童生徒には人権啓発ポスターや人権作文により、人権意識の高揚を図った。

また、社会教育においては、各種学級・講座に人権教育を計画的に配置するとともに、人権問題学習講座を開設するなど、人権意識の高揚と人権問題について継続的な学習活動を実施した。

## (4) 市高生「夢」実現応援事業

自らの「夢と未来」の実現に向かって頑張る市高生を文武両面から支援することによって、学力と技能（スポーツ・芸術）の向上を図り、将来の徳島を担う人材の育成に努め、市立高校がさらに輝き、飛躍・発展し、文武両面において四国一の公立高校となることを目指し、予備校講師等による夏期集中講義の開催やスポーツの専任トレーナーの招聘等、学力向上の推進と部活動の強化を実施した。

## (5) 防災教育の推進

発生時における幼児・児童生徒及び教職員の安全確保に向けて、全ての学校（園）において防災管理マニュアルを作成し、適宜、点検をして改善を図った。また、教職員を対象に、防災研修会を実施し各校（園）の実態に応じた防災への取り組みを進めるとともに、防災教育発表会を開催し、先進校（園）の取り組みについて情報交換を行うなど、本市における防災教育の充実に取り組んだ。

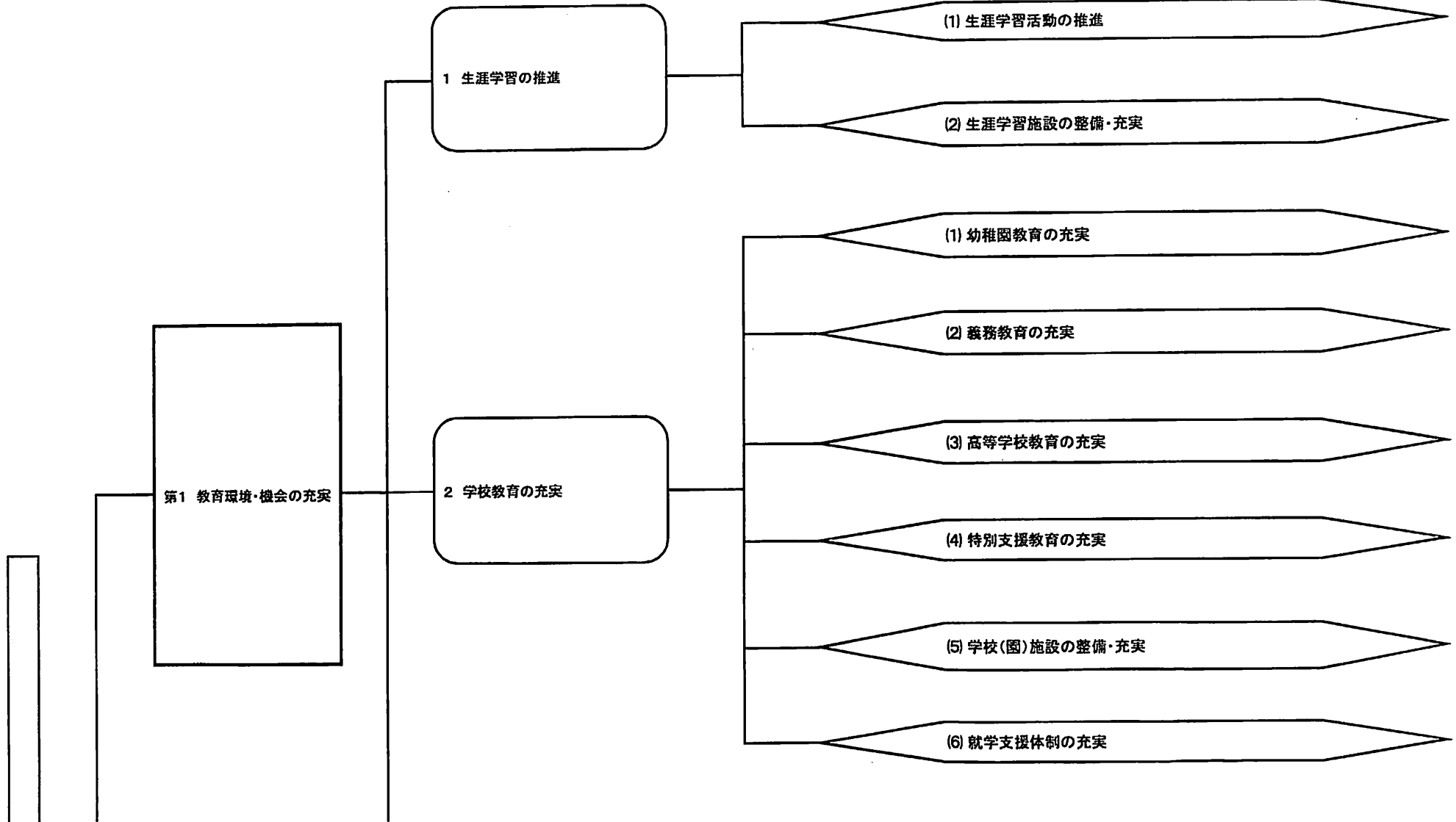
# 第4章 事務事業に係る点検・評価に関する結果一覧

## 事務事業の体系

[基本目標] [施策の大綱]

[施策]

[事業群]



第2 スポーツ・文化活動の振興

3 青少年の健全育成

- (1) 家庭教育の充実
- (2) 青少年活動の充実
- (3) 健全育成体制の充実と環境整備
- (4) いじめ・不登校問題等への対応

1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

- (1) 市民主体のスポーツ活動の推進
- (2) スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実
- (3) スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

2 文化・芸術活動の振興


- (1) 文化財の保存と活用

3 国際交流の推進


# 第1 教育環境・機会の充実

## 1 生涯学習の推進

※矢印については、H26実績とH27実績の比較




事業群名	生涯学習活動の推進						第1-1-(1)	
目的	市民が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される生涯学習社会の実現を目指す。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 主な生涯学習活動への参加者数(人)	55,432	55,102	52,342		65,000	81%	
成果指標の達成状況	成果指標は安定的に推移しており、各ライフステージに応じた生涯学習は充実している。							
成果向上のための今後の方向性	市民各層のニーズに応じた学習機会提供の充実を図る。							

※矢印については、H26実績とH27実績の比較


事業群名	生涯学習施設の整備・充実						第1-1-(2)	
目的	市民各層が、自立した人間として生きていこうとする学習意欲に応えられるよう、生涯学習の場としての施設等の管理・運営の充実を進める。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 年間利用者数(人)	119,154	80,755	131,131		178,500	73%	
成果指標の達成状況	中央公民館の耐震改修工事により一時的に利用者数が減少したが、各種講座の開催などによるサービス向上により利用者数は回復し、今後も増加していくと思われる。							
成果向上のための今後の方向性	急激な時代の変化に即応した市民各層への学習機会提供の充実を図る。							

## 2 学校教育の充実

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	幼稚園教育の充実						第1-2-(1)
目的	充実した幼児教育の提供や預けやすい環境の整備を意図し事業に取り組んでいる。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 徳島市内幼稚園就園率(%)	48	47	36 <sup>※1</sup>		50	72%
	2 預かり保育実施園数(園)	26	26	24		25	96%
	3 預かり保育利用延べ園児数(人)	3,951	4,262	8,185 <sup>※2</sup>		7,775	105%
成果指標の達成状況	<p>少子化による園児数の減少もあるが、充実した幼児教育や預けやすい環境整備に努力し目標の達成としたい。</p> <p>※1 平成27年度から市立幼稚園の一部で3歳児保育を開始したため、3歳児の数を分母に加えたことにより、就園率が低下した。</p> <p>※2 平成27年度から預かり保育事業の制度変更により1日単位での利用を可能としたため、利用園児数が増加した。</p>						
成果向上のための今後の方向性	<p>幼児期においてその発達の特性に沿った幼児教育が受けられるよう制度の拡充、改善を図る。また、教員に対する研修施策等を充実させ、資質や専門性の向上を図っていく。</p>						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	義務教育の充実						第1-2-(2)
目的	確かな学力の育成、豊かな心の育成、健やかな体の育成、信頼される学校づくりを意図し様々な事業に取り組んでいる。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 学校評価に関する保護者へのアンケート実施率(%)	100	100	100		100	100%
成果指標の達成状況	<p>平成20年度から文部科学省により学校評価が義務化され教職員や学校関係者、保護者に対して指導方法・内容等の評価に関するアンケートが実施されている。</p>						
成果向上のための今後の方向性	<p>基礎基本の確実な定着をめざし、様々な教育課題に対応しつつ、個性を生かす教育の充実により、学習意欲・学習習慣の向上を図り、確かな学力を培う。</p> <p>また、指導方法・内容等の充実のため様々な意見をとり入れることが可能な環境の充実に努めていく。</p>						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	高等学校教育の充実						第1-2-(3)
目的	特色ある魅力的な市立高校づくりにより、将来性豊かな有能な生徒募集に反映させる。 また、恵まれた学習環境により、学校生活を充実させ、新しい時代を拓くすぐれた人材を育成する。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 市高生の国際理解度(%)	75	75	78	↗	78	100%
	2 男子サッカー部の公式試合での勝率(%)	77	78	73	↘	85	86%
	3 英語検定試験合格率(%)	56	56	56	→	58	97%
成果指標の達成状況	事業は順調に進行中である。						
成果向上のための今後の方向性	様々な魅力・特色づくり事業を推進しながら、事業成果を検証して、文武両道の県下に誇れる市立高校を目指す。						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	特別支援教育の充実						第1-2-(4)
目的	特別な支援を必要とする幼児、児童生徒が在籍する学校(園)に一定の資格や専門知識を有する相談員・特別支援教育指導主事、学習・地域ボランティアを派遣し、教育相談や担任の補助等、個々にあった適切な支援をする。また、教職員には研修会を開催し、資質向上を図り指導力を高める。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 ボランティア派遣回数(回)	1,507	1,342	1,517	↗	1,800	84%
	2 教育相談の実施件数(件)	306	635	790	↗	580	136%
成果指標の達成状況	ボランティア派遣事業の周知を図ることで、ボランティア活動への参加人数を確保し、ボランティア派遣達成率の維持に努める。						
成果向上のための今後の方向性	学習・地域ボランティア、相談員・教職員の特別支援教育に関する専門的知識を高めていくことで、特別な支援を必要とする幼児・児童生徒やその保護者にあった教育的支援が可能になると思われる。						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較


事業群名	学校(園)施設の整備・充実						第1-2-(5)	
目的	子どもたちが安全・安心な環境の中で、充実した教育を受けられる学校(園)施設の整備・充実に努めるとともに、施設の有効活用を推進する。							
成果指標の状況	成果指標名		H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1	小学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	96	96	100		100	100%
	2	中学校耐震補強済み校舎等の割合(%)	100	100	100		100	100%
	3	幼稚園耐震補強済み園舎等の割合(%)	100	100	100		100	100%
成果指標の達成状況	学校(園)施設の耐震化率については、平成27年度に小学校の耐震化事業が完了したことにより、すべての施設において100%を達成した。							
成果向上のための今後の方向性	学校(園)施設の管理・運営に係る諸業務については、法定の業務や義務的な経費は、従前のおおりの執行をしていくことになる。 その他の経費については、学習環境の低下を生ずることなく、コストの縮減に努めながら施設環境の保全を図っていく。							

※矢印については、H26実績とH27実績の比較




事業群名	就学支援体制の充実						第1-2-(6)	
目的	子どもたちがよりよい教育を受けられるように適切な学びの場や指導支援についての相談や調査を行う。							
成果指標の状況	成果指標名		H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1	教育支援委員会 判断件数(件)	462	531	601		550	109%
	2	教育相談の実施件数(件)	306	635	790		580	136%
成果指標の達成状況	経済的な支援も含め、就学先の教育相談の充実を図ることで、適切な就学指導を実施していく。							
成果向上のための今後の方向性	一人ひとりの子どもに応じた学びの場を考え、適切な教育支援を行うために、相談支援体制を充実していくことが今後も重要である。							

### 3 青少年の健全育成

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	家庭教育の充実						第1-3-(1)	
目的	家庭教育は、すべての教育の出発点であるという認識に立って、保護者間のネットワークづくりや学習の機会及び情報の提供に努める。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 各種講座等への参加者数(人)	7,773	9,260	7,350		10,200	72%	
成果指標の達成状況	学校・家庭・地域社会が一体となった子育て支援体制の整備に努めている。							
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を図る。							

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	青少年活動の充実						第1-3-(2)	
目的	青少年の「人間力」を育むため、青少年が地域の大人たちとふれあう機会や自立心を養う体験学習など、青少年活動の充実に努める。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 青少年活動に参加している青少年の数(人)	5,929	4,176	6,221		6,500	96%	
	2 市青少年健全育成協議会兼推進大会の参加人数(人)	322	378	341		400	85%	
	3 地区青少年健全育成協議会事業実施回数(回)	461	466	455		450	101%	
成果指標の達成状況	成果指標は安定しており、活動内容も充実している。							
成果向上のための今後の方向性	学校・家庭・地域が連携を図り、社会総がかりで青少年の健全育成を推進する態勢を整備する。							



※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	健全育成体制の充実と環境整備						第1-3-(3)
目的	青少年の健全育成を図るため、非行や有害環境等の直面する課題に対応するとともに、地域における子どもの安全確保に努める。 その活動を通じてすべての主体が一体となり、青少年を見守る社会づくりを推進する。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 補導に従事した延べ人数(人)	2,261	2,271	2,275	↗	2,380	96%
	2 少年1,000人あたりの刑法犯少年数(人)	4.2	4.4	2.6	↘	4.0	135%
	3 保護者のフィルタリング認知度(%)	-	92.9	94.1	↗	100.0	94%
成果指標の達成状況	地域街頭補導の継続により、非行防止・犯罪抑止を図っている。 関係機関との連携強化により健全育成条例の周知を図り、有害環境の浄化を推進するとともに、啓発活動に努めている。						
成果向上のための今後の方向性	環境整備においては、安全・安心につながる、より幅広い活動の展開が重要であり、地域活動の一層の充実が不可欠である。 地域における青少年への関心を高め、これまで以上に学校と地域がつながり、青少年活動等の推進に努める必要がある。						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	いじめ・不登校問題等への対応						第1-3-(4)
目的	いじめ・不登校等児童生徒の諸問題に対し、未然防止に必要な学校体制を確立するとともに、早期に適切な相談・支援ができるよう体制の充実、啓発活動の推進を図り、学校・家庭・地域関係諸機関の連携はもとより、すべての大人が一体となった取り組みを行う。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1 教育研究所・青少年育成補導センターの各事業における相談を受けた延べ件数(件)	1,002	1,521	1,501	↘	1,500	100%
	2 不登校児童の出現率(小学校)(%) 不登校生徒の出現率(中学校)(%)	0.40 2.93	0.47 2.94	0.40 2.80	↘	0.18 1.50	45% 54%
	3 不登校に関する教育相談を受けた件数(件)	449	602	917	↗	450	204%
	4 いじめ解消率(%)	98.3	97.6	83.3 (上半期)	↘	100.0	83%
成果指標の達成状況	様々な問題について相談を受け付けることにより、相談支援体制の充実を図っている。 また、きめ細かな支援を実施し、不登校児童生徒の学校復帰率やいじめ解消率の向上に努めている。						
成果向上のための今後の方向性	いじめ問題及び不登校問題に対し、すべての人が関心をもち、その根絶に向けて取り組めるよう、様々な機会を提供し、啓発活動の充実を図る。 よりきめ細かな相談・支援体制の充実を図り、早期の対応はもとより、専門機関との連携を図る。						

## 第2 スポーツ・文化活動の振興

### 1 スポーツ・レクリエーション活動の振興

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	市民主体のスポーツ活動の推進						第2-1-(1)
目的	多様化するスポーツニーズに対して各地域で様々なスポーツ・レクリエーションの普及及び指導者を養成する。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1	総合型地域スポーツクラブの設立数(団体)	3	3	3	→	4
2	スポーツ指導者の養成数(人)	630	628	686	↗	850	81%
成果指標の達成状況	目標年度にはクラブ数及び指導者数の達成を目指す。						
成果向上のための今後の方向性	市民が、それぞれの興味や関心、年齢、目的、体力に応じて主体的にスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、組織づくりと指導者養成に取り組む。						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実						第2-1-(2)
目的	市民及び競技愛好者に様々なスポーツ・レクリエーション活動を楽しんでもらうとともに体力づくりの機会を提供する。						
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率
	1	市主催のスポーツイベントへの参加者数(人)	14,172	25,352	4,469	↘	17,000
成果指標の達成状況	平成27年度は「とくしまマラソン」が実施されていないため、参加者数が大幅に減少した。(平成26年度に2回実施(H26.4とH27.3)したため。)						
成果向上のための今後の方向性	年度によるばらつきはあるが、安定した参加者数の増加を目指し、取り組む。						

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実						第2-1-(3)	
目的	市民が、いつでも、どこでも、誰でもスポーツ・レクリエーション活動を楽しめるよう、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実に努める。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 体育施設利用者数(人)	1,349,112	1,264,669	1,334,066		1,500,000	89%	
成果指標の達成状況	平成27年度は、耐震工事が完了した市立体育館の利用者数が増大したものの、他施設の耐震工事や、学校体育施設の利用者数が年々減少していること等の影響により、全体の利用者数は微増に留まっている。							
成果向上のための今後の方向性	気軽に利用できるスポーツ・レクリエーション施設として、小・中学校の学校開放を推進する。また、市民スポーツの振興には施設整備が必要であることから、今後は、計画的かつ効果的な施設整備を行う。							

## 2 文化・芸術活動の振興

※矢印については、H26実績とH27実績の比較

事業群名	文化財の保存と活用						第2-2-(1)	
目的	文化財の保護、保存、活用を図ることにより、歴史や文化を対象とした文化財保護団体の活動の支援、自立を促し、地域づくり、人づくりを推進する。							
成果指標の状況	成果指標名	H25実績	H26実績	H27実績	対前年度比較	目標(H29)	達成率	
	1 市内所在の指定文化財・登録文化財の件数(件)	150	149	152		153	99%	
成果指標の達成状況	文化財が多種多様化する現在、文化財としての歴史的・文化的価値を重視した上で、指定・登録化に柔軟さを求めることも必要である。							
成果向上のための今後の方向性	地域の人々の主体的な活動による文化財の保護、活用を推進し、文化財が地域づくり、人づくりの役割を果たすことができる方向性を示す。 市民が、個性ある文化財保護活動を展開することにより、地域に対する愛着を深め、自らが生活する地域に誇りを感じることができるまちづくりを推進する。							

## 第5章 学識経験者の所見

### 1 「未来を拓く」学力サポート事業

文部科学省が行った小・中・高校生に対する全国意識調査では、「勉強が好きだと思う子どもが少なく、学習意欲が必ずしも高くない」「学校の授業以外の勉強時間が少なく、学習習慣が十分身に付いていない」などの課題が指摘されている。

このような中、本市が平成27年度からスタートさせた「『未来を拓く』学力サポート事業」では、1中学校区（中学校1校、小学校2校）をモデル校として指定し、学力サポートティーチャーによる支援を受ける中で、「学力向上に向けた学習・生活基盤づくり」「主体的な取り組みによる学習意欲の向上」「保護者への啓発と連携」等を主な柱として取り組みを進めた。

その結果、「国語や算数（数学）の勉強が好き・よく分かる」と共に、「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合が増加した。さらに、中学校では放課後、自主的に学習に取り組む生徒が見られるようになってきている。短期間の実践で特筆すべき成果が現れており、平成28年度も新たな中学校区で本事業に取り組んでいるが、本市全体でモデル校の実践が共有できるよう、事業の充実と継続した取り組みを進めて頂きたい。

### 2 徳島市・名東郡中学生会議

2014年の文部科学省調査によると、携帯電話やスマートフォンによる誹謗中傷などのネットいじめは増加傾向を示し、2006年度に比べ約2倍になっている。ネットいじめは学校にいる時間帯だけでなく、24時間365日継続し、多くの子どもたちが誰にも相談できず苦しんでいる現状がある。

携帯電話やスマートフォンによるネットいじめの被害者にも加害者にもならないため、各中学校から生徒を集めて話し合いの場を持つことは、子どもたちを守る大切な取り組みである。ここでは、生徒たちが肌で感じているネットいじめの実態と解決法について、受け身ではなく自分たちの問題として具体的に考えることに大きな意味があり、今後とも継続してほしい重要な企画である。

### 3 沖洲小学校校舎完成

近年、各地で巨大地震が発生し、本市においても建物倒壊と津波被害が危惧される中、沖洲小学校が改築された。新しい沖洲小学校は、避難所機能を備えた5階建ての新校舎と3階建ての新体育館からなり、太陽光発電、蓄電設備、雨水利用設備等を備えた「エコと防災」に優れた最新の施設・設備となっている。この改築により、予想高2.6mを超える津波が襲来した場合においても、児童は安全に高層階に避難できると共に、近隣住民からも津波避難ビルとして大きな期待が寄せられている。

沖洲小学校の改築で、徳島市の幼稚園、小・中学校の耐震化率は100%となった。厳しい財政状況の中、計画的・継続的に耐震化を進めてきたことと共に、地震と津波に負けない先駆的な学校施設を完成させたことを何よりも高く評価すると共に、永年苦勞を重ねてこられた関係諸氏に敬意を表したい。

平成28年7月6日

徳島文理大学 准教授 富樫 敏彦

## 学識経験者の所見

### 1 生涯学習の推進

社会的価値を追求する視点から、地域の課題解決を目的とした「放課後子ども教室推進事業」「地域学遊塾運動」「地域住民交流推進事業」を実施し、地域における教育力向上に努めていることは、今後とも継続してほしい。また、徳島市立図書館において、市民にとって身近で役に立つ図書館を目指し、「①子どもの成長支援・②地域の成長支援・③市民の学習支援」という運営方針に沿ったサービスを展開することにより、通算220万人以上（4年間のはじめの2年間で100万人以上）という来館者の増加傾向が見られたことは、十分に評価できる。さらに、考古資料館においても、新規イベントの開催や利用者へのサービスの向上を図り、開館以来最も多い12,587人の来館者を得たことは、高く評価できる。さらなる取り組みの充実を期待したい。

### 2 学校教育の充実

幼稚園教育の充実について、3歳児保育を4園で開始したことは高く評価できる。今後、より質の高い幼稚園教育の提供に向けての取り組みに注目していきたい。小中学校教育は、子どもたちの学力向上を目指して「未来を拓く」学力サポート事業を3校のモデル校で実施したことは、注目に値する。特に、各校の課題の見直しを行い、研究テーマに沿った指導方法の工夫・改善のための実践研究や先進地から講師を招聘しての研修会の開催等、教員の教育力向上への取り組みは、今後とも継続、拡充してほしい取り組みである。また、特別な支援を必要とする児童生徒に対するきめ細やかな指導体制の充実のために、助教員を21校に配置したことは評価できる。

国際理解・交流については、ALTや英語活動サポーターを学校に派遣している。児童生徒が生きた英語や外国文化について直接学ぶ環境づくりは重要であり、今後もこの取り組みに期待したい。

沖洲小学校校舎及び屋内運動場の耐震化が完成したことで、本市の学校(園)施設の耐震化率が100%に達したことは、高く評価できる。

### 3 青少年の健全育成

課題解決に向かって主体的に取り組む子どもを育てるため、携帯電話やスマートフォンを取り巻く問題について、テーマごとにグループで話し合う中学生会議を実施し、議論の内容を各学校に持ち帰り、生徒会が中心となって啓発に取り組んだ。このような、自主的な活動から生み出された知恵は生きて働くことから、高く評価でき、今後の継続的な取り組みを期待したい。

### 4 スポーツ・レクリエーションの活動の振興

子どもの体づくりのための食事を学ぶ、食育サッカーフェスタを市民活動団体との協働事業として実施した。子どもの体力向上は、運動環境、運動の機会の充実はもちろんであるが、体づくりの基礎となる「食」の問題は重要である。このような取り組みは、今後とも継続してほしい企画である。

### 5 文化・芸術活動の振興

文化財の保存と活用について、パブリックコメント手続きを実施した。寄せられた内容を精査し、今後に生かしていただきたい。さらに、埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査を実施し、保護のための理解を高めようとしたことも、地域の歴史や文化を大切にする人づくりを推進する取り組みとして評価できる。

### 6 食育の推進

学校給食における食物アレルギー（平成27年度は、卵・そば米・かに・落花生の4品目）除去食の提供を全小中学校（46校）で継続実施した。子どもの「食」に関する安全を確保するためには大切なことであり、今後とも継続した取り組みを期待する。校内体験栽培作物の給食への活用や野菜の摂取促進及び地場産食材を活用するための新献立の導入は、子どもの「食」に関する関心を高め、偏食の改善に寄与する取り組みであると高く評価できる。

平成28年7月20日  
鳴門教育大学 准教授 湯口雅史